



第16回日本禁煙科学会学術総会 in 倉敷  
共催セミナー2

# 周術期禁煙の重要性

座長

**東山 明子 先生** 大阪商業大学 公共学部 教授

演題1

**周術期禁煙から生涯禁煙へ  
～エビデンスのサイドから～**

**柚木 靖弘 先生** 川崎医科大学心臓血管外科

演題2

**絶好のteachable momentから  
生涯の禁煙へ “つなぐ”**

**山本 直子 先生** 川崎医科大学附属病院 看護部

日時

**2021年9月12日(日) 12:00～13:00**

本セミナーはWEB開催(ライブ配信)となります。  
詳細は学会総会公式ホームページよりご確認ください。  
<https://med-gakkai.jp/jascs2021/>

# 周術期禁煙から生涯禁煙へ ～エビデンスのサイドから～

川崎医科大学心臓血管外科 柚木 靖弘 先生

日本麻酔科学会が2015年に公表した「周術期禁煙ガイドライン」が外科系医師に与えたインパクトは大きいものがあった。喫煙が周術期の全身管理に影響を与え予後に影響することをエビデンスをもとに明らかにし、特に呼吸器合併症の減少効果の点からはより長期の禁煙が望ましいとの強い働きかけ効果があった。

このガイドラインは現在、公開後の新たな知見を追加し、より実践的な内容を含んだプラクティカルガイドとして改訂作業が進んでおり、近々公開される予定である。このプラクティカルガイドは麻酔科医、外科系医師のみならず、手術の原疾患ならびに併存疾患の治療にかかわる多くの内科医、看護師、薬剤師への熱いメッセージである。

周術期禁煙は第16回日本禁煙科学会学術総会in倉敷のメインテーマのひとつである。周術期禁煙から生涯禁煙へ、私はエビデンス面のお話をし、実践面のお話への橋渡しとする。

# 絶好のteachable momentから 生涯の禁煙へ “つなぐ”

川崎医科大学附属病院 看護部 山本 直子 先生

「タバコで苦しむ方を一人でも減らしたい。」慢性期看護と生活習慣病予防等の保健活動に携わる中で、そうした思いを抱き歩んできました。予防医療における禁煙支援の重要性を強く認識し、人々の禁煙のきっかけや健康寿命延伸に資する研究テーマを模索しております。

近年では、周術期管理の取り組みが重要視され、当院では2018年より周術期外来が導入されました。2019年からは心臓血管外科での周術期禁煙外来も開設されています。

特に周術期は、絶好のteachable moment、禁煙の機会となります。時機を逃さず、その機会をどう活かし、患者さんの行動変容を支えるか。看護師・保健師・禁煙支援士の視点から、考察したいと思います。患者さんのお気持ちに心から寄り添い、真摯に向き合うことの大切さと、禁煙支援の楽しさについてもお伝えできれば幸いです。